

アフリカレポート

総目次 (No.11~No.20)

	筆者	ページ		筆者	ページ
●Vol.11(1990年9月)					
小特集 民主化への胎動?					
現代アフリカの政治と民主化 (巻頭言)	小田 英 郎	1	チャドの政変——軍閥、金庫、 対外援助の力学	勝 俣 誠	6~9
コートジボワールの政治危機	原 口 武 彦	2~6	リベリアの内戦	原 口 武 彦	10~13
ベナン人民共和国の終焉 ——国民結集全国会議を中 心に	勝 俣 誠	7~10	図解：アフリカと日本		14~17
ナイジェリア：「二党制」導入 とその展望	望 月 克 哉	11~14	アビジャンの不良“ヌウシ” (現地通信)	鈴 木 裕 之	18~19
ガボン：一党制の軌跡と民主 化の動き	落 合 雄 彦	15~18	複数政党制へ移行したザンビ ア	児 玉 谷 史 朗	20~24
ザイールにおける政治改革 ——モブツ体制の動揺とそ の原因	武 内 進 一	19~23	イギリスの反アパルトヘイト 運動と日本	堀 江 浩 一 郎	25~28
マンデラ釈放後の南アフリカ 共和国	林 晃 史	24~27	ナイジェリアの政党の変遷	戸 田 真 紀 子	29~32
図解：最近のアフリカ「民主 化」への動き		28~29	アフリカと日本——21世紀の ための学習機会	B・K・アスオン	33~36
文献目録 (サハラ以南アフリ カの政治変動)		30~33	最近のマラウィにおける労働 移動	小 倉 充 夫	37~40
セネガル：国土開発整備計画 に参加して	三 島 禎 子	34~37	無文字社会を読む、あるいは 声の征服	中 村 雄 祐	41~44
ケニア：野生動物による被害 について	小 林 聡 史	38~41	北部タンザニア農村調査行 (調査員レポート)	池 野 旬	45~48
西アフリカの印象——サヘル の国ニジェールを中心に (現地通信)	山 口 博 一	42~43	資料紹介		49~52
タンザニア生活事始	池 野 旬	44~47	●Vol.13 (1991年9月)		
資料紹介		48~52	アフリカ国立公園 (African National Parks) (巻頭言)	伊 谷 純 一 郎	1
●Vol.12 (1991年3月)			マラウィの構造調整	坂 元 浩 一	2~5
巻頭言	星 昭	1	ケニア穀物公社改革の現状	小 島 さ く ら	6~9
ルワンダ内戦の二つの側面 ——難民問題と民主化要求	武 内 進 一	2~5	ウガンダの構造調整	大 林 稔	10~11
			ナイジェリアの構造変化と農 村変容	島 田 周 平	12~16
			ゴールドラッシュの後で—— 政治経済的变化とアニュー 人の対応	栗 本 英 世	17~20
			南アフリカ・アフリカ民族会 議(ANC)全国大会	林 晃 史	21~25
			図解：アフリカの難民		26~27

	筆者	ページ		筆者	ページ
どこまでも遠かった村——よ そ者とダンの少年	真島 一郎	28～31	アフリカの地域経済統合再生 の兆し	大林 稔	2～5
マリの政変	原口 武彦	32～34	ガーナ：第四共和制への道のり アフリカにおける「民主化」 の諸相——コンゴの事例と ザイールとの比較	高木 桂一	6～10
モザンビーク人難民キャンプ 訪問記	富岡 明子	35～38	民主南アフリカ会議	武内 進一	11～15
タンザニアの食糧危機ふたたび (調査員レポート)	池野 旬	39～42	アフリカ諸国の統計資料：収 集と蔵書構成	林 晃史	16～19
日本アフリカ学会第28回学術 大会に参加して	高根 務	43～44	二つのアフリカとイスラム—— モーリタニアの事例から		20～21
資料紹介		45～48	セクー・トゥーレ思想の再検 討——生誕70周年によせて 調査の戦略と倫理——ケニア のある町より	宮治 一雄	22～26
●Vol.14 (1992年3月)			教育と出版におけるスワヒリ 語の地位——タンザニアの 場合	高林 敏之	27～30
世界のアフリカ化(巻頭言)	山口 昌男	1	南部アフリカ行	上田 元	31～34
マダガスカルの不思議な政変劇	千代浦 昌道	2～5	タンザニア農村調査から (調査員レポート)	竹村 景子	35～38
ザンビア：民主化の風はどこ から吹いてきたのか	小倉 充夫	6～9	資料紹介	原口 武彦	39～44
引き続きザイールの政治的混 乱——暴動の後で	武内 進一	10～13	●Vol.16 (1993年3月)	池野 旬	45～48
図解：アフリカの政治的民主 化(その2)		14～15	アフリカ援助を下から見れば (巻頭言)		49～52
ケニア政治調査行：1992年1月	津田 みわ	16～20	アンゴラの政治情勢——民主 化への道程と苦悩	日野 舜也	1
ガーナ：民主化への道	高根 務	21～24	ガーナ第四共和制——複数政 党制下の「一党支配」	青木 一能	2～5
コートジボワールの民営化政策	原口 武彦	25～28	ソマリア内戦——民族、部族、 氏族	高根 務	6～9
タンザニアの北パレ山間農村 の変容	吉田 昌夫	29～32	政治化する援助国会合	原口 武彦	10～13
ジンバブエの新五カ年経済計 画1991～95年——「ジンバ ブエ：経済改革のための枠 組み(1991～95年)」の紹介	林 晃史	33～36	アフリカの人口動向と人口政策	大林 稔	14～17
セネガルに老人休暇村?	小川 了	37～40	都市の中の牧畜民——ナイロ ビのマサイとソマリ	早瀬 保子	18～22
ダルエスサラームのゴミ問題 (調査員レポート)	池野 旬	41～44	ケニア社会の不安	池谷 和信	23～27
資料紹介		45～48		内田 雄一	28～32
●Vol.15 (1992年9月)					
アフリカ研究の成熟と退廃 (巻頭言)	米山 俊直	1			

	筆者	ページ		筆者	ページ
コートジボワールのアチェケ づくり	茨木 透	33~36	ングダエ暗殺後のブルンジ情勢	佐藤 章	14~17
アフリカ農業援助からの教訓	細見 眞也	37~40	ヴィクトリア湖岸の水産業	秋本 徹	18~21
日米アフリカニスト会議報告	吉田 昌夫	41~44	マディナ村(マリ)に住んで	村上一枝	22~25
タンザニアの構造調整政策 (調査員レポート)	池野 旬	45~48	スワジランド研修行	坂井真紀子	26~29
資料紹介		49~52	ウガンダ再訪記	吉田 昌夫	30~33
			ウフェ・ボワニ大統領の死	原口 武彦	34~37
			第2回アフリカ・米・日ア フリカニスト会議	林 晃史	38~40
●Vol.17 (1993年9月)			ターニング・ポイント——南 ア総選挙の展望	平野 克己	41~44
地球の歴史とアフリカ大陸 (巻頭言)	諏訪 兼位	1	(調査員レポート)		45~48
南アフリカ共和国の政治情勢	林 晃史	2~6	資料紹介		
1992年ケニア総選挙——複数 政党制回復とKANU	津田 みわ	7~10	●Vol.19 (1994年9月)		
ナイジェリア：大統領選挙を めぐる混乱	望月 克哉	11~15	地域研究概論とアフリカ研究 (巻頭言)	犬飼 一郎	1
ブルンジ民主化の中のツチと フツ——部族を語ることに ついて	佐藤 章	16~20	冷戦後の国際関係とアフリカ	遠藤 貢	2~5
独立エリトリアの課題	佐藤 寛	21~24	CFAフランの切り下げとフ ラン圏アフリカの展望	大林 稔	6~9
アフリカ諸国の政治経済動向 と類人猿調査	五百部 裕	25~28	小特集-1 アフリカの地域 紛争		
ナイジェリアの環境関連組織	板倉 豊	29~32	和平、そして内戦の再発—— 忘れられたアンゴラ内戦	青木 一能	10~13
ザンビアの民主化と農村開発	高田 浩幸	33~36	ルワンダ：再燃した内戦の中 のツチとフツ	佐藤 章	14~17
ベンバの食用イモムシ採集	杉山 祐子	37~40	アフリカ自然保護活動におけ る保護思想のあり方——日 本の国際貢献に向けての私見	岡安 直比	18~22
構造調整政策とジェンダー (研究動向紹介)	高根 務	41~44	コンゴ再訪：動乱の後で	武内 進一	23~26
光差す方へ(調査員レポート)	平野 克己	45~48	ナイジェリア：問われるリー ダーシップ	望月 克哉	27~30
資料紹介		49~52	小特集-2 南アフリカ 南アフリカ共和国初の普通選 挙	藤本 義彦	31~34
●Vol.18 (1994年3月)			新国家誕生(調査員レポート)	平野 克己	35~38
アフリカ研究の二つの立場 (巻頭言)	坂本 慶一	1	アフリカ民族会議 復興開発 計画：一つの政策枠組 (資料紹介)	林 晃史	39~42
ポスト構造調整をめぐる	池野 旬	2~5			
ウガンダ：構造調整成功の要 因と今後の課題	高橋 基樹	6~9			
コンゴ：作られた部族抗争	武内 進一	10~13			

- ジェームス・ブルース『ナイル探検——17・18世紀大旅行記叢書10』 (鈴木陽子)
- ステファン・ライト, ジャニス・N・ブラウン
フット編『変貌するアフリカ——政治経済システムの自立と国際関係——』 (丹埜靖子)
- ユベール・デシャン『マダガスカル』, 山口洋一『マダガスカル——アフリカに一番近いアジアの国——』 (林 晃史)
- 岡倉登志『「野蠻」の発見——西洋近代の見たアフリカ——』 (井村 進)
- 秋葉幹人『アフリカ』 (細見眞也)
- 椎名誠『あやしい探検隊アフリカ乱入』 (津田みわ)
- Vol.14 (1992年3月)
- 田中二郎・掛谷誠編『ヒトの自然誌』 (高根 務)
- パトリック・メラン『アフリカの日常生活』 (細見眞也)
- 林 晃史編『アフリカの歴史——アフリカの21世紀 第1巻』, 日野舜也編『アフリカの文化と社会——アフリカの21世紀 第2巻』, 小田英郎編『アフリカの政治と国際関係——アフリカの21世紀 第3巻』 (高根 務)
- R・サンドブルック『アフリカ経済危機の政治分析』 (林 晃史)
- パトリック・マーンハム『深く、アフリカへ』 (鈴木陽子)
- 勝俣 誠『現代アフリカ入門』 (井村 進)
- 聖心女子大学キリスト教文化研究所編『アフリカとの対話——宗教文明叢書2』 (丹埜靖子)
- 松園万亀雄『グシイ——ケニア農民のくらしと倫理』 (津田みわ)
- Vol.15 (1992年9月)
- 室井義雄『連合アフリカ会社の歴史 1879—1979年——ナイジェリア社会経済史序説』 (武内進一)
- 島田周平『地域間対立の地域構造——ナイジェリアの地域問題——』 (丹埜靖子)
- 川田順造『西の風・南の風——文明論の組みかえのために』 (細見眞也)
- 森 淳『アフリカの陶工たち』 (高根 務)
- 中林伸浩『国家を生きる社会——西ケニア・イスハの氏族』 (津田みわ)
- マンデラ歓迎日本委員会編『ポスト・アパルトヘイト』 (鈴木陽子)
- 川端正久・佐々木建編『南部アフリカ——ポスト・アパルトヘイトと日本』 (林 晃史)
- アジア経済研究所『発展途上地域地図目録 第2巻 アフリカ地域編』 (井村 進)
- Vol.16 (1993年3月)
- 野町和嘉『地球へ! RIFT VALLEY ODYSSEY』 (津田みわ)
- ライアル・ワトソン『わが心のアフリカ』 (鈴木陽子)
- パトリック・メラン『アフリカの日常生活』 (高根 務)
- W・E・B・デュボイス『黒人のたましい』 (林 晃史)
- 中嶋鴻明『ジンバブエの風はどちら向き』 (林 晃史)
- 大賀敏子『心にしみるケニア』 (丹埜靖子)
- 石川薫『アフリカの火——コンゴの森ザイールの川』 (井村 進)
- 山田一廣『知っておきたいエチオピアの実像——アフリカ最古の国の素顔』 (細見眞也)
- Vol.17 (1993年9月)
- 川田順造『サバンナの王国』 (佐藤 章)
- 佐藤 俊『レンディーレ——北ケニアのラクダ遊牧民』 (丹埜靖子)
- 森 明雄『カメルーンの森の語り部』 (鈴木陽子)
- 梶 茂樹『(ことばを訪ねて) アフリカをフィールドワークする』 (池野 旬)
- 荒木美奈子『女たちの大地——開発援助フィールドノート』 (高根 務)
- 青木澄夫『アフリカに渡った日本人』 (望月克哉)
- P・ピアード『ジ・エンド・オブ・ザ・ゲーム』 (津田みわ)
- ネルソン・マンデラ『闘いはわが人生』 (林 晃史)

●Vol.18 (1994年3月)

- 岡倉登志・北川勝彦『日本・アフリカ交
流史——明治期から第二次世界大戦期
まで』 (林 晃史)
勝俣 誠『アフリカは本当に貧しいのか』 (細見真也)
赤阪 賢・日野舜也・宮本正興編
『アフリカ研究——人・ことば・文化』 (池野 旬)
吉田昌夫・小林弘一・古沢紘造編『よみ
がえるアフリカ』 (丹埜靖子)
嶋田義仁『異次元交換の政治人類学』 (原口武彦)
ムトニ・リキマニ『ケニアの女の物語』 (望月克哉)
アンヌ・ユゴン『アフリカ大陸探検史』 (津田みわ)
カマンテ・ガトゥラ『闇への憧れ——も
うひとつの「アフリカの日々」』 (佐藤 章)

●Vol.19 (1994年9月)

- コリン・ターンプル『豚と聖霊——ライ
フ・サイクルの人類学』 (池野 旬)
森 康成『アフリカ生活誌』 (鈴木陽子)
オスマン・サンコン『サンコン少年のあ
ふりか物語』 (津田みわ)
ジェフリー・ハワード『サハラ砂漠縦断
記』, 野町和嘉『サハラ縦走』 (井村 進)
川端正久・佐藤 誠編『新生南アフリカ
と日本』 (林 晃史)

- 楠瀬佳子『南アフリカを読む——文学・
女性・社会』 (細見真也)
トニ・モリスン『白さと想像力——アメ
リカ文学の黒人像』 (佐藤 章)
土屋 哲『現代アフリカ文学案内』 (丹埜靖子)

●Vol.20 (1995年3月)

- 『変わりゆく南部アフリカと日本の経済
協力——課題と提言〈Forum (国際開
発センター)No.14特集号〉』 (林 晃史)
サンガ・N・カザディ『キルウェ ザ・
ハンター』 (児玉由佳)
佐藤真佐美『山梨学院大学箱根駅伝物語』 (丹埜靖子)
服部伸六『アフリカ歴史人物風土記』 (佐藤 章)
立石俊一『日本人とアフリカ人』 (高根 務)
『明治大学図書館所蔵「アフリカ文庫」目
録』 (鈴木陽子)
A・カブラル協会編『アミルカル=カブ
ラル 抵抗と創造——ギニアビサウと
カボベルデの独立闘争』 (武内進一)
和田正平『裸体人類学——裸族からみた
西欧文化』 (細見真也)